

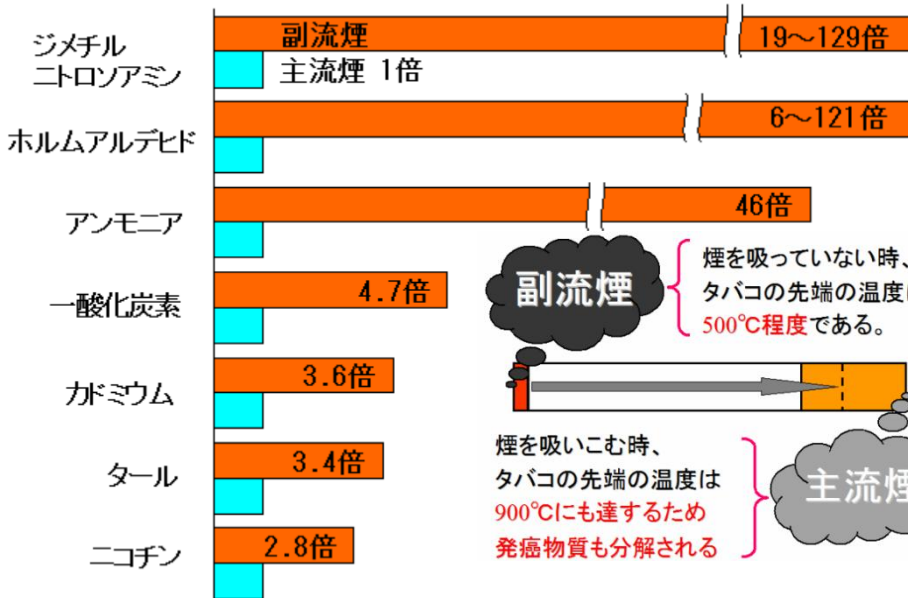
週刊 **タバコの正体**

タバコの煙には毒の缶詰のごとく有害物質が含まれている事はすでに紹介しましたが、その煙は喫煙者の周りにも広がります。すると、たまたま近くにいた人たちはそんな有害物質を吸ってしまう事になります。これを受動喫煙と呼んでいます。とても迷惑な話ですよね。下図にあるように喫煙者が吸い込む煙を主流煙と言うのに対して、タバコに火がついている間ずっと出続ける煙を副流煙と呼び、受動喫煙はこの煙を吸わされるわけです。

大切な人を受動喫煙から守ろう



たばこ煙は副流煙の方が有害



左のグラフを見てください。じつは、この副流煙の有害物質の濃度は主流煙よりはるかに高く100倍を超える物質もあるのです。

こんな煙を吸わされては、たまたまのものではありませんよね。だから、人のいる所でタバコは吸ってはダメなのです。

産業デザイン科 奥田恭久